



1 厦門大学との交流 / 2 バレーボール大会打上げ
3 クリスマスパーティー / 4 学部イベントにて



留学記・ニイハオ!! ～中国厦門市～その2

第15期 市海外留学生
佐和田 大祐

【挨拶】

大家好、好久不见。(皆さんこんにちは、お久しぶりです。) 私が通う厦門理工学院では、学生が主体となつて様々なイベントが催されます。

【スポーツ大会】

日本の大学同様に多くのスポーツサークルが存在しますが、異なる点は、各学部ごとにチームが編成されている事です。会場設営や審判、道具の準備まで全て学生主導で学内での大会が運営されます。

【他大学留学生との交流】

他大学との交流も盛んに行わ

中国ってどんなところ？

私の留学体験記

市では、平成14年から毎年1人、友好都市である中国福建省厦門市の市立大学厦門理工学院へ留学生を派遣しています。
平成27年9月～平成28年7月まで約1年間の留学を終えた西原真紀子さんの帰国報告、パネルディスカッション、ワークショップが2月16日(木)、男女共同参画支援センターふくふくにて行われました。

留学して
可能性が広がりました!



第14期留学生 西原真紀子さん

第1部「帰国報告」「中国での体験と出会い」

西原真紀子さんより、写真を用いながら厦門市の紹介、学校での様子、中国文化体験、食の違い、文化の違い、様々な出会い等について報告がありました。

▼授業について

基礎クラスからスタートし、世界各国から来た留学生達と一緒に勉強しました。授業は、英語と中国語の二か国語で授業を進めていきます。授業では中国の学生サポーターが入り分からない所や発音などを教えてくれたりと楽しく授業を受けることができました。また、語学以外にも書道、中国絵、太極拳などの中国の文化も学びました。

▼出会い
多くの国籍の方と出会う事ができました。特に、高齢の日本人留学生二人との出会いが語学上達につながりました。また、台湾やインドネシア、香港等の友人もでき、その友人の故郷へ旅行し、中国以外の文化に触れる機会も得られました。

▼さいごに

中国での一年間はとても濃く楽しく、新しい発見があり、色々な方達と縁で繋がった一年でした。また、中国の方々の温かさにとっても助けて貰いました。実際、中国に行き自分の目で確かめるのと人から聞く話とは全然違います。今まで想像していた中国とは違っていました。厦門での経験を通して私自身、成長出来たと思います。今後留学での経験を活かして行けたらと思っています。

第2部「パネルディスカッション テーマ『帰国後の活躍の可能性』」

宜野湾市海外留学生選抜試験審査委員長のアラルコンさんの進行のもと、留学経験をした西原さん、宜野湾市のインバウンド事業を展開している清水さん、留学促進活動を行っている平良さんがパネリストとして登壇しました。それぞれの立場から帰

国後の可能性についてパネルディスカッションを行いました。
第3部「ワークショップ テーマ『あなたにとっての外国人』」
参加者が繋がる場としてワークショップを行いました。5グループに分かれて、あなたにとっての外国人をテーマに中国人についてはもちろん、在住外国人、旅行者等について、話し合いを行いました。身近にいる外国人やメディアで見える外国人等についての話がされ、外国人が住みやすいまちづくりにまで話が弾みました。



パネルディスカッションとワークショップの様子

中国・厦門(アモイ)市への留学生 募集

本市の海外友好都市締結先である中国福建省厦門市の市立大学に1年間留学生を派遣し、国際的視野を持った人材の育成を図ることを目的に留学希望者を募集します。



- ▶ 募集期間 4月10日(月) ～ 5月26日(金)
- ▶ 選考試験 5月28日(日) <作文および面接試験>
- ▶ 応募資格

- ・満18歳以上、満40歳以下で、高校卒業以上の学歴を有する者
- ・平成29年4月1日現在において宜野湾市に1年以上住所を有する者
- ・心身ともに健康な者、日本国籍を有する者

- ▶ 派遣人員 1名
- ▶ 留学期間 1年間(平成29年9月～平成30年8月迄)
- ▶ 派遣先 厦門市立厦門理工学院

▶ 留学費市負担

- ・厦門理工学院授業料全額(約270,000円/年)
- ・寮費の2分の1(約80,000円/年)
- ・中国福建省厦門市までの往復旅費
- ・パスポート申請費(持っていない方)
- ・ビザ申請費

▶ 留学生負担

- 寮費の2分の1(約80,000円/年)
- その他の経費:生活費等(約500,000円/年)
- ※中国国内旅行も含めた金額
- ※1円≒20円と計算した場合